



T O K Y O R O P P O N G I R O T A R Y C L U B

東京六本木ロータリークラブ



W E E K L Y R E P O R T

「世界を見据えて進もう」
～Observe the world and proceed～
東京六本木ロータリークラブ会長

『率先しよう』

～Lead the Way～
国際ロータリークラブ会長

発行日 2007年6月18日

No. 38

平成19年6月4日
卓話 『最新作“母べえ”を振り返って』

映画監督

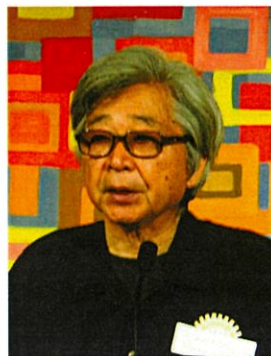
山田 洋次 様

はじめまして映画監督の山田です。この5年間立て続けに3本、時代劇を撮りました。藤沢周平さんの小説の世界を映画にできないかと考えて作った第1弾が「たそがれ清兵衛」です。これを作る時スタッフに言ったのは、清兵衛が生まれてから死ぬまで家の中は殆ど変わらなかったはずだと。生まれたときに置いてあった筆筒も使っていたお櫃も、彼が死ぬときそのままあったらう。そういうものを大事に大事に使い、変えようとしなかった。先祖が作った暮らしの形を守ることが大事なんだという考えがあったに違いない。窮屈だけど秩序のある静かな暮らしがあって、そこにひたひたと生きていた人々を描きたい。誤解を恐れずに言えば藤沢さんは一種のユートピアを描きたかったんじゃないか。海坂藩という架空の藩は、明らかに藤沢さんの故郷、鶴岡のことです。鶴岡の町がかつてこうであり、そこに住む人々はこんなふうであった。特に下級武士、毎日黙々とお城に通い、一日を過ごし、家に帰って妻や子どもと会話を交わし、休みの日には畑を耕す。そういう静かに流れていく日々を描くのが藤沢さんの願いだった。幕末に日本を訪れた外国人の見聞記で、圧倒的に大勢の人が日本の景色、暮らし方、礼儀正しさ、国のあり方を褒めちぎっている。そんな本を読みながら、僕たちは明治、大正、昭和と、あまりにも江戸時代を否定しすぎたのではないか、特に今、江戸時代に生きた人たちをもう一度敬意を持ってイメージするのはとても意味のあることじゃないか、そんなことを繰り返してスタッフに言いながら、この3作を作ったわけです。

「母べえ」は昭和15年から16年にかけての高

円寺とか三鷹辺りに暮らしていたある家族の物語ですが、ある意味で時代劇を作るより大変でした。江戸時代の地方の小藩の下級武士の暮らしなんて何のデータも残ってないから想像で作るしかないんです。

ですが、昭和15、16年だと沢山の人がこの時代を知っている。誰が見てもそんなに間違っていないと思う形にしなくちゃいけない。映画で大事なのは大勢のスタッフに作品をいいものにするんだという気持ちになってもらって、それぞれの専門分野で創意工夫を凝らしてもらうこと。今日の映画作りの中で一番辛いのは、例えば昭和15、16年という時代を再現するための勉強もしたしノウハウも獲得したけど、仕事が終わると殆どフリーですから、みんな散らばってしまうことです。獲得したノウハウはその集団に蓄積されない。かつて大船撮影所であれば1,200～1,300人の人がいて、その中でノウハウが蓄積され優れた映画が作られた。「7人の侍」「羅生門」も黒澤組と称する人たちがいたからこそ出来た。これから先、映画を支える大勢の技術者、職人が育たないと本当のいい映画はできない。その手立てを考えるのが今の僕の一番の仕事じゃないか、そんなことを思いながら「母べえ」の撮影を終えたわけです。この映画は皆さんに見ていただけるのは来年になります。もしお目に留まったらご覧いただければありがたいと思います。





■ 本日のプログラム

平成 19 年 6 月 18 日
卓話 『眼から始めるアンチエイジング医学』
慶應義塾大学医学部教授
坪田 一男 様

プロフィール

1955 年東京生まれ。1980 年慶應義塾大学医学部卒業後、日米の医師免許を取得。米ハーバード大学角膜フェローシップ修了。角膜移植、ドライアイ、屈折矯正手術の世界的権威。再生医療による角膜移植のほか、レーシックや高度近視の手術、老眼などの最先端の医療に取り組む。アイバンクの活動にも精力的に取り組み、日本に移植コーディネーターのシステムを導入、2001 年には市川に角膜センターアイバンクを開設。さらに日本に屈折矯正手術を導入

■ 次回のプログラム

平成 19 年 6 月 25 日
『年度末夜間例会』

する先駆けとなった専門施設の南青山アイクリニック手術顧問を務め、スポーツ選手や著名人の多くを執刀する。また近年は、診療と研究に抗加齢医学＝アンチエイジング医学を導入し、この分野でも先駆的な活動を行っている。日本抗加齢医学会理事、同学会誌『アンチエイジング医学』編集長を務めるなど、日本のアンチエイジング医療をリードする。

近著に『老けるな!』(幻冬舎)、『老いに勝つ!10の秘訣』(宝島社)など。

坪田一男のウェブサイト <http://www.tsubota.ne.jp>

「老けるな!」のウェブサイト <http://www.fukeruna.jp>

■ ニコニコBOX情報

三好 秀和さん(山の手東グループ幹事・東京西RC)
水島会長、篠塚幹事、六本木RCの皆様、一年間お世話になりました。

松本 智さん
2週連続で欠席してしまいました。今月は株主総会があるので、また忙しくなります。

大橋 寛治さん
古川 清様、本日はお忙しい中を卓話においでいただき誠にありがとうございました。
秋津先生、大へんお世話になり、ありがとうございました。

篠塚 博さん
新旧合同幹事会よろしくお願い致します。

脇若 英治さん
6月25日は誕生日かつ結婚記念日ですが、出張で夜間例会は残念ながら欠席させていただきます。

宇佐見 千嘉さん
芒種の候となりました。世界では環境問題が大きく取り上げられていますね。

小笠 裕子さん
今日、母が古希を迎えました。

小西 恭子さん
柳さん、いらっしゃいます。1ヶ月お元気でしたか?

安間 百合子さん
秋津先生、ありがとうございました。大いに活用させていただきます。

岡田 達雄さん
先週、無事GSA(グローバル・スポーツ・アライアンス)の会員総会が終わりました。

中川 勉さん
つゆ明けをイメージしてがんばります。

松島 正之さん
古川さん、今日のお話しを楽しみにしています。

小島 篤さん
ニコニコもいよいよ大詰めですね。
目標達成すぎです。ご苦労様でした。

門田 真子さん
キャラバン訪問先のクラブから、卓話のご依頼をいただきました。7月13日に「色彩でサクセスをつかむ」の話をしてみたいです。

荻田 吉夫さん
古川さんの卓話を大いに楽しみにしております。

山口 富久さん
F1(エフワン)カナダグランプリ 佐藤選手6位入賞を祝して。

安井 悦子さん
来週の例会はお休みさせていただきます。見学ツアーに参加できずに、残念です。

浅田 豊久さん
梅雨が本格的になって来ました。

山本 良樹さん
利根川上流の水不足が心配です。



6月11日 合計 102,000円
累計 3,439,000円

東京六本木ロータリークラブ

会長 水島 裕 幹事 篠塚 博

会報・広報 安井 悦子
委員 長

会報・広報 渡辺 美智子
副委員 長

事務局 〒106-0032 東京都港区六本木6-10-3 グランドハイアット東京内 TEL:03-4333-8773 URL:<http://www.tokyoroppongi-rc.jp/>